

[日本標準商品分類番号] 872615

[承認番号] 16100AMZ02284000

[薬価収載] 1986年3月

[販売開始] 1986年3月

[再評価結果] 1982年8月

殺菌消毒剤

[貯 法]

遮光した気密容器に入れ、火気を避けて保存。

[組成・性状]

1. 組成

本品は15°Cでエタノール(C₂H₆O:46.07) 76.9～

81.4vol%を含む(比重による)。

2. 性状

本品は無色澄明の液で、特異なおい及びびやくような味がある。

本品は水と混和する。

本品は点火するとき、淡青色の炎をあげて燃える

本品は揮発性である。

[効能・効果]

手指・皮膚の消毒、手術部位(手術野)の皮膚の消毒、医療用具の消毒

[用法・用量]

本品をそのまま消毒部位に塗布する。

[使用上の注意]

1. 次の部位には使用しないこと

損傷皮膚及び粘膜(刺激作用を有するので)

2. 副作用

(1) **過敏症** 発疹等の過敏症状があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止すること。

(2) **皮膚** 刺激症状があらわれることがあるのでこのような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3. 適用上の注意

(1) 人体

ア. 原液又は濃厚液は刺激作用があるので経口投与しないこと。

イ. 目に入らないよう注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。

ウ. 広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。

エ. 同一部位に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。

(2) その他

本剤は血清、胆汁等のたん白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。

[薬効薬理]

本剤は使用濃度において栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)酵母菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞(炭疽菌、破傷風菌等)及び一部のウイルスに対する殺菌効果は期待できない。

[取扱い上の注意]

注意: 1. 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合には、腐食を防止するために0.2～1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。

2. 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学機器、鏡器具、塗装カテーテル等には、変質するものがあるので、このような器具には長時間浸漬しないこと。

[その他の注意]

承認外の経皮的エタノール注入療法(PEIT)使用例で、注入時の疼痛、酩酊感、発熱、本剤の局所外流出による重篤な胆道・腹腔内等での出血、肝梗塞、肝不全等が報告されている。

[主要文献] 日本薬局方解説書(広川書店)